

著者について

アレクサンダー・ヴェルナー

1961年、カールスルーエに生まれる。文芸学および歴史を学ぶ。修士論文のテーマは「ゲオルク・ビューヒナーの『レンツ』」。

1991年から1995年まで、「バーデン最新ニュース」において見習いおよび編集者として働く。

1995年末からバーデンの新しい雑誌「見解」の着想に携わり、1996年から副編集長、2000年からは「クリスモン・プラス」誌の発行に伴い、バーデンの雑誌「見解」の編集長を務める。

さまざまな機関誌において、クラシック音楽に関する寄稿、インタビュー記事、CD評論が多数ある。1992年、「マクシミリアン・ヴェルナーと1849年のバーデン革命」を出版する。2007年12月、彼の著書「カルロスクライバー ある天才指揮者の伝記」がマインツのショット・ミュージック社より出版され、改訂第2版が2009年2月に出版された。



アレクサンダー・ヴェルナー、2008年9月スロベニアのコニツァにあるカルロスクライバーの墓にて。